

- 奥州市は、市町村合併により広大な市域となったことに加え、都市機能誘導区域に設定している3地域間の移動距離が長いことから、地域公共交通の重要性は高まっている。
- このため、市街地の変遷や公共施設への移動需要の変化等を踏まえ路線を再編し、利便増進を図り利用者の拡大を目指す。

事業の内容

①水沢駅への乗り入れ【対象路線：水沢コミュニティバス】

市コミュニティバス（Zバス）4路線において新たに主要駅の水沢駅へ乗り入れ

②Zホールや水沢図書館、商業施設等への延伸【対象路線：水沢前沢線】

水沢駅西口が起終点となっている水沢前沢線を、駅東口側に立地する水沢常磐郵便局へと起終点を変更

③ニュータウン・商業施設への延伸【対象路線：胆沢病院線（水岩線）】

胆沢病院線（水岩線）について、新たに桜屋敷ニュータウンやイオンスーパーセンター水沢桜屋敷店付近へ延伸



事業の効果

①鉄道との接続性向上

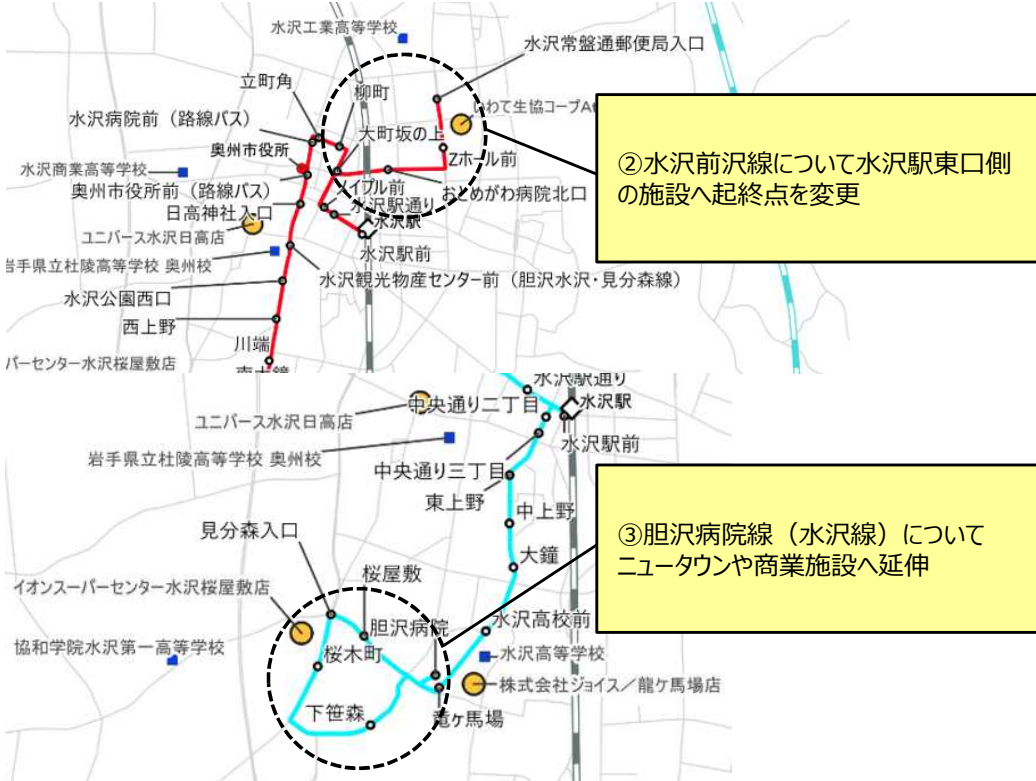
鉄道との接続性を高めることで、高校の通学時や市民の日常生活での移動時、市外からの水沢中心部等への観光利用などにおける利便性を向上

②公共施設等へのアクセス性の向上

水沢駅東口側の公共施設・商業施設へアクセス性を向上させることで、買い物時やイベント開催時などにおける利便性を向上

③ニュータウン居住者や商業施設利用者等の需要の取り込み

ニュータウンへの延伸により、当該地域の移動機会創出へ繋げることに加えて、商業施設への利用者など、新たな需要の取り込みに寄与



作成自治体 岩手県、奥州市 事業実施区域 岩手県奥州市内

事業実施予定期間 R8年4月～R11年3月

【対象エリア】 岩手県奥州市